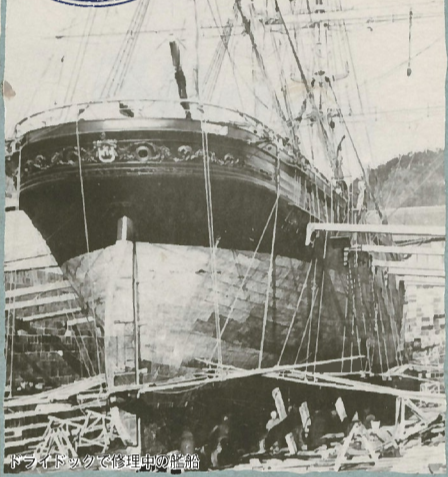


近代日本のルーツ 横須賀製鉄所

マップ付



かつてのトマックで修理中の艦船

横須賀製鉄所を知っていますか？

現在の米海軍横須賀基地周辺には、1865年に建設が開始された横須賀製鉄所(造船所)という造船施設がありました。日本の近代化は、横須賀製鉄所(造船所)から始まりました。



横須賀製鉄所全景 (明治時代初期)

現在の米海軍横須賀基地周辺の上空写真



明治14年の横須賀製鉄所(造船所)の絵地図



横須賀製鉄所(造船所)の歩み

1 近代日本の夜明け ～ペリー来航と小栗上野介

1853年のペリー来航により横須賀は、日本が近代社会へ向かう歩みをする最初の地になりました。このペリー来航をきっかけに、江戸幕府は横浜などを開港しましたが、これにより幕府は自分達の力で日本を守る必要性を考えるようになりました。日本を守るためには海軍力の増強や、軍艦を造るための近代的な造船所を建設する必要があり、その計画を立てた人物が、幕府の勘定奉行などを歴任した小栗上野介忠順でした。

2 フランスの協力により 横須賀製鉄所の建設を決定

当初、小栗らは造船所の建設協力をアメリカに要請しましたが、アメリカは国内で南北戦争が起きており協力を拒まれました。そのような中、駐日フランス公使ロッシュが幕府へ接近を図ってきました。当時フランス国内では、製糸業を支える「カイコ」に伝染病が発生しており、産業が壊滅状態でした。日本からの生糸と伝染病に強い「カイコ」が必要だったのです。早速、小栗とロッシュとの面談が行われ、その後すぐに、横須賀が造船所の建設場所選ばれました。

3 ヴェルニーと 横須賀製鉄所のくわ入れ式

造船所建設の技術的な役割は、フランソワ・レオン・ス・ヴェルニーに任せられました。来日したヴェルニーは、フランスのトゥロン港に似た横須賀港を気に入り、施設の建設計画を立てますが、技術者の確保と機械の購入のため一時フランスへ帰国します。その間に、幕府はこの造船施設(arsenal)を「鉄を加工する場所」という意味の「製鉄所」という名称にして、1865(慶応元)年11月15日にくわ入れ式(起工式)を行いました。これが横須賀製鉄所の始まりです。

友好都市 富岡市 世界遺産富岡製糸場のルーツは 横須賀製鉄所(造船所)にあった！

2014(平成26)年、世界遺産に登録された富岡製糸場は、1872(明治5)年に建てられましたが、これは横須賀製鉄所にいたフランス人技術者パスチャンが設計したものです。富岡製糸場に現在も残る建物の特徴である「木骨れんが造」(木材の骨組みにれんがを積み上げる工法)や、従来の日本にはなかった屋根の工法である「トラス工法」は、1870(明治3)年までに建てられた副首長のティボディエ官舎をはじめとする横須賀製鉄所内にあった建物が、そのモデルとなっています。

このような歴史的つながりから、横須賀製鉄所のくわ入れ式から150周年にあたる2015(平成27)年に横須賀市と富岡市は友好都市提携を行いました。



製糸場内部：屋根はトラス工法



東館倉庫正面



東館倉庫北側

監修：山本昭一(横須賀市文化行政専門委員)
発行：横須賀市政策推進部文化振興課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話：046-822-8116 E-MAIL: cup-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
このパンフレットは30,000部製作し、1枚当たりの印刷料金は12.96円です。平成26年11月発行(平成28年3月改訂)

横須賀製鉄所(造船所)は、日本初の近代的な総合工場でした。 造船だけでなく、様々な機械が造られ、 ここで培われた技術や文化は、日本全国へ広まりました。

日本初！ 横須賀製鉄所(造船所) から始まった文明開化

- ・1871(明治4)年完成！
今も現役で働き続けるドライドック
- ・日本で最初にメートル法が使われた
- ・近代的な労働時間の管理
- ・フランスによる最新の技術教育
- ・煉瓦づくりの工場群

日本で最初にメートル法が使われた！

現在の米海軍横須賀基地内にある1871(明治4)年に完成したドライドック(船を修理する施設)は、今も現役で働くドライドックとしては日本最古です。この施設は、ヴェルニーを含めたフランス人技術者達が設計したため、フランス方式のメートル法が使われました。このメートル法を、工事を行う日本人の土木者達は、当時日本で使われていた尺貫法にすべて置き換えて、みごとにドライドックを完成させました。



建設中の1号ドック

横須賀製鉄所(造船所)から 日本各地へ伝わった近代化産業

- ・世界遺産 富岡製糸場(群馬県)の設計
- ・生野銀山(兵庫県)で使用される機械の製造
- ・官営愛知紡績所(愛知県)の動力機械を製造
- ・観音埼灯台(横須賀市)の建設
- ・野島埼灯台(千葉県)の建設
- ・品川灯台(東京都)の建設

※現在、博物館明治村(愛知県)に保存

働く人たちの時間を 時計で管理し始めた！

幕末の日本では、現在私たちが使っている時計が普及しておらず、労働時間も夜明けから日没までという曖昧なものでした。横須賀製鉄所では、フランス人により労働時間が管理され、西洋式の時計で労働時間は午前6:30から午後5:30までと決められていました。所内の製綱所(船に使うロープを造る工場)の上に時計台を建設してこれを標準時間とし、15分遅れて出勤すると欠勤にされてしまいました。西洋式の時間管理の普及を図るためです。また、西洋式の曜日制度も採用され、日曜日を休日としていました。



横須賀明細一覧図の袋
右側に時計台が描かれている

語り継ごう！横須賀の誇り 横須賀製鉄所(造船所)

1865(慶応元)年に建設が始まった横須賀製鉄所(造船所)は、現在の米海軍横須賀基地周辺にありました。横須賀製鉄所は時代の変化とともに、横須賀造船所、横須賀海軍工廠とその名前を変えますが、横須賀のみならず、近代日本の発展の礎として、わが国の近代化をリードした屈指の工業施設であり、同時に横須賀が都市として発展する出発点となりました。

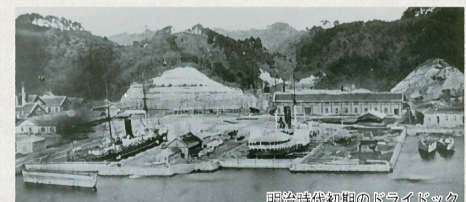
横須賀製鉄所(造船所)の歴史は、近代文明発祥の歴史とも言えます。このような歴史がある横須賀のドラスティックな足音こそが、近代日本の息吹きでした。

2015(平成27)年に横須賀製鉄所(造船所)が創設150周年を迎えたことを記念し、当時造られたドライドックの対岸に位置するヴェルニー公園に横須賀製鉄所(造船所)の説明板を設置するとともにPR映像を作成し、インターネットでの配信やDVDの貸し出しを行っています。横須賀の歴史に興味を持ち、横須賀を誇りに思い、それを次世代へ語り継いでもらえればと強く願っています。



建設中の製綱所の時計台

横須賀製鉄所(造船所)
創設150周年記念PR映像
近代日本のルーツ(検索)



明治時代初期のドライドック

歩いてみよう！

横須賀製鉄所(造船所)物語散歩

所要時間：約4時間30分(見学時間：約3時間30分を含む)

- 1 JR横須賀駅** スタート

1889(明治22)年開通。ホームの屋根を支える柱はレールを再利用。
徒歩約1分
- ヴェルニー公園** **2 ヴェルニー記念館** **3 逸見波止場衛門**
4 ヴェルニー・小栗上野介胸像
5 横須賀製鉄所・ドライドック説明板

公園の対岸には、今も現役で使われている1号～3号ドックが望めます。
公園を出てから徒歩約2分
- 6 YOKOSUKA軍港めぐり**

横須賀製鉄所(造船所)の創設がきっかけで発展した横須賀港と、戦前は旧海軍の施設があり、現在は自衛隊の施設がある長浦港を海から見る事ができます。(有料)
約45分間のクルーズ
問い合わせ先：046-825-7144 (船トライアングル)
運行時間：10:00・11:00・12:00・13:00・14:00・15:00出航
※10:00便は土日祝日、GW、夏休み～11月末日の平日に運航
徒歩約5分
- 7 旧海軍下士官兵集会所碑**

現在の横須賀芸術劇場周辺は、戦前は海軍の下士官や水兵が利用する集会所があり、戦後はアメリカ海軍がEMクラブとして使用していました。
戦後のEMクラブ
徒歩約1分
- 8 ドブ板通りへ(散策)**

ドブ板通りから階段を登る：徒歩約2分
- 9 「明治天皇横須賀行在所址」の碑**

公園を抜けて階段を登る：徒歩約2分
- 10 「明治天皇御駐蹕」の碑**

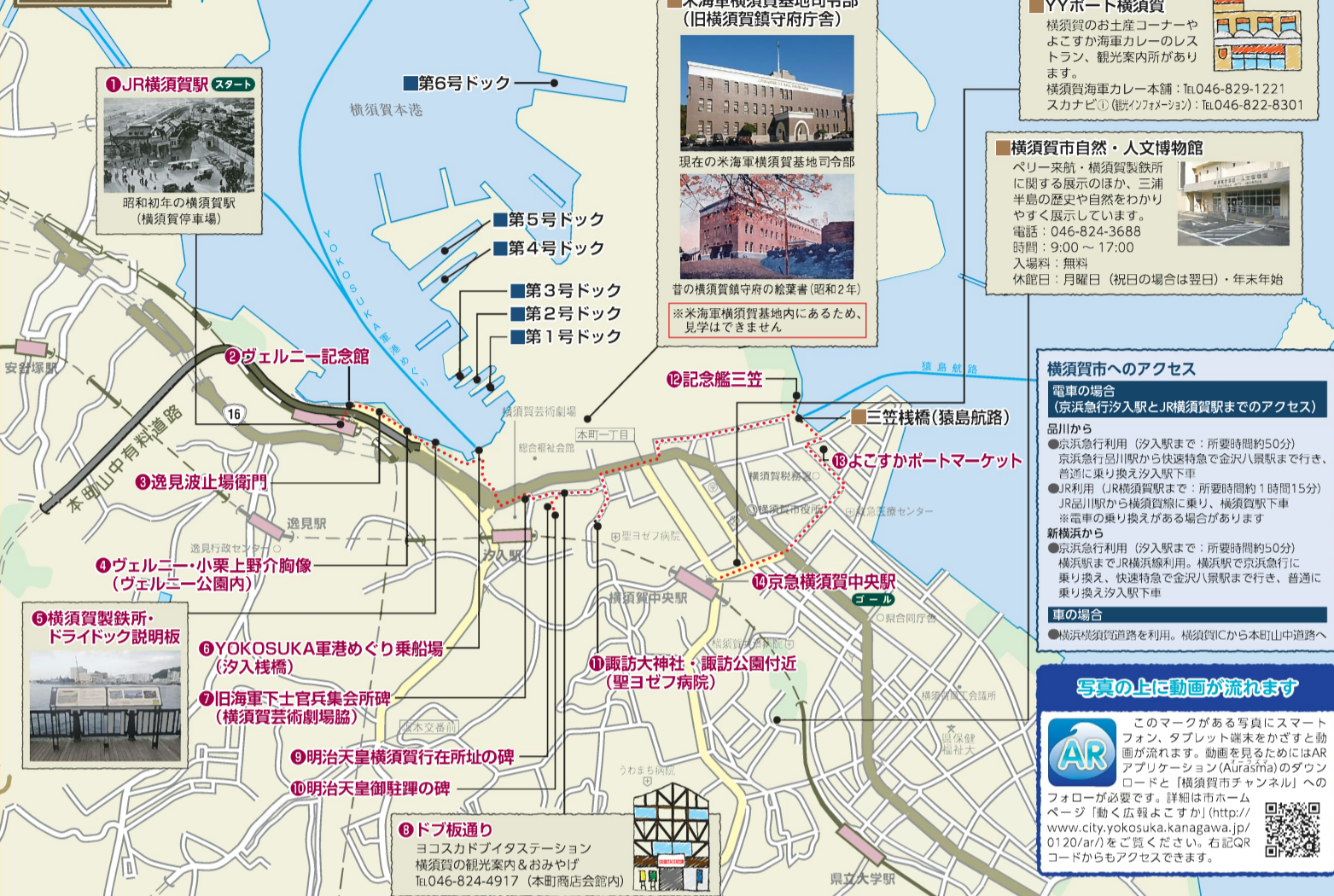
ドブ板通りへ戻り、そこから徒歩約6分
- 11 諏訪大神社・諏訪公園付近**

徒歩約12分
- 12 記念艦三笠**

徒歩約3分
- 13 よこすかポートマーケット**

横須賀産を中心に地場の美味しいものを集めたマーケット。農水産物や葉山牛、横須賀銘菓などのお店があります。
電話：046-823-1967
時間：10:00～19:00(レストランは11:00～21:00)
定休日：火曜日(祝日の場合営業)
徒歩約12分
- 14 京急横須賀中央駅** ゴール

お散歩マップ



YYボート横須賀

横須賀のお土産コーナーやよこすか海軍カレーのレストラン、観光案内所があります。
横須賀海軍カレー本舗：Tel.046-829-1221
スカナビ(脱Tシャツ)：Tel.046-822-8301

横須賀市自然・人文博物館

ペリー来航・横須賀製鉄所に関する展示のほか、三浦半島の歴史や自然をわかりやすく展示しています。
電話：046-824-3688
時間：9:00～17:00
入場料：無料
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

横須賀市へのアクセス

電車の場合
(京浜急行汐入駅とJR横須賀駅までのアクセス)
品川から
●京浜急行利用(汐入駅まで：所要時間約50分)
京浜急行品川駅から快速特急で金沢八景駅まで行き、普通に乗換え汐入駅下車
●JR利用(JR横須賀駅まで：所要時間約1時間15分)
JR品川駅から横須賀線に乗り、横須賀駅下車
※品川の乗り換えがある場合があります
新横浜から
●京浜急行利用(汐入駅まで：所要時間約50分)
横須賀までJR横須賀線利用。横浜駅で京浜急行に乗り換え、快速特急で金沢八景駅まで行き、普通に乗換え汐入駅下車

車の場合
●横浜横須賀道路を利用。横須賀ICから本町山中道路へ

写真の上に動画が流れます

このマークがある写真にスマートフォン、タブレット端末をかざすと動画が流れます。動画を見るためにはARアプリケーション(Aurasma)のダウンロードと「横須賀市チャンネル」へのフォローが必要です。詳細は市ホームページ「動く広報よこすか」(http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0120/ar/)をご覧ください。右記QRコードからもアクセスできます。

横須賀製鉄所(造船所)と近代横須賀のゆかりの場所

- ヴェルニー公園**

2 ヴェルニー記念館

横須賀製鉄所内で稼働していた0.5トンと3トンのスチームハンマー(国指定重要文化財)が展示されています。くわ入れ式が行われた1865(慶応元年)にオランダで製造され、それから100年以上もの間、ずっと現役で使用されていたものです。
電話：046-824-1800
時間：9:00～17:00
入場料：無料・休館日：月曜日(祝日の時は翌日)・年末年始
- 3 逸見波止場衛門**

建築年代は明治末期から大正初期と推定されます。当時のヴェルニー公園は波止場となっており、ここから小型船に乗り、沖に停泊している艦船へ向かっていきました。
横須賀軍港波止場(大正13年)
- 4 ヴェルニー・小栗上野介胸像**

公園内には、横須賀製鉄所建設を推進した小栗上野介と、フランス人技師ヴェルニーの胸像があります。胸像は、明治時代に造られたドライドックが残る米海軍横須賀基地の方向を臨んで設置されています。

横須賀製鉄所(造船所)ドライドック

第1号ドック・第2号ドック・第3号ドック

ドライドックとは、艦船を修理するために使う施設です。この3基のドライドックはヴェルニー公園の対岸に位置し、向かって右から第1号・第2号・第3号と並んでいます。水面近くに「A」、「B」の文字がある鉄の板が見えますが、それがドックの扉です。1号ドックは日本最古の西洋式の石造ドックで、今も現役で使われています。

第4号ドック・第5号ドック

艦船の大型化に対応するため横須賀海軍工廠時代に建造されたこの2基ドックにより、横須賀海軍工廠の重要性は一層高まりました。

第6号ドック

昭和時代に建造された全長約337mのドックは当時日本最大でした。旧海軍の戦艦「大和」型三番艦の航空母艦「信濃」はここで造られました。

ドック番号	起工年	竣工年	造り	長さ×幅×深さ(m)
第1号ドック	1866年(慶応2)	1871年(明治4)	石造	134.5×29.0×9.0
第2号ドック	1860年(明治13)	1884年(明治17)	石造(推定)	153.0×32.0×11.5
第3号ドック	1871年(明治4)	1874年(明治7)	石造	94.0×18.0×7.5
第4号ドック	1901年(明治34)	1905年(明治38)	コンクリート及び石造	239.0×38.0×13.5
第5号ドック	1911年(明治44)	1916年(大正5)	コンクリート及び石造	322.0×50.0×15.0
第6号ドック	1935年(昭和10)	1940年(昭和15)	鉄筋コンクリート(推定)	337.0×61.5×18.0

(上記の一覧表は、米海軍横須賀基地からの提供資料を基に作成)
※ドライドックは、米海軍横須賀基地内にあるため、見学はできません。

8 ドブ板通り

明治時代、ドブ板通りには横須賀製鉄所(造船所)製物に来る観光客相手のお土産屋や旅館が並んでいました。道路の真ん中に溝があり、板で溝をふさいでいたため、この名前がつけました。戦後は、アメリカ兵を相手にする飲食店が軒を並べ、今でもアメリカンな香りがする通りです。

9 「明治天皇横須賀行在所址」の碑
10 「明治天皇御駐蹕」の碑

1871(明治4)年から1875(明治8)年までの間に、明治天皇が横須賀造船所への行幸の折に宿泊された場所です。それを記念して、東郷平八郎の書による「明治天皇御駐蹕」の碑が建てられ、1933(昭和8)年に除幕式が行われました。また、1936(昭和11)年には「明治天皇横須賀行在所址」の碑が建てられました。

11 諏訪大神社・諏訪公園付近

現在の諏訪大神社周辺は、明治時代は横須賀の行政・教育の中心地で、初代横須賀市役所庁舎がありました。1923(大正12)年の関東大震災で倒壊しました。その跡地に1939(昭和14)年、海軍の下士官兵とその家族のための海仁会病院が建てられました。建物は弓なりにしており、美しい外観になっています。現在、その建物は聖ヨゼフ病院となっています。

明治40年頃の横須賀市役所(跡地は現在、聖ヨゼフ病院)

12 記念艦三笠

日露戦争時の連合艦隊旗艦で日本海海戦を勝利に導いた戦艦です。戦艦の役割を終えた後は記念艦として保存され、1926(大正15)年に現在の場所で保存記念式典が行われました。太平洋戦争後に武装解除の対象となり荒廃しましたが、1961(昭和36)年に復元されました。
電話：046-822-5225(三笠保存会)
時間：9:00～17:30
(3月・10月は17:00まで、11月～2月は16:30まで)
入場料：大人600円、高校生300円(中学生以下無料)
休み：12月28日～31日